

コメント

タイにおける果樹ウイルス病について

果樹試験場興津支場 家 城 洋 之

カンキツグリーニング病の研究を推進するには、従来の生物検定法では検出に時間がかかり又精度にも問題があるので、簡易で精度の高い検定法の確立が必要である。世界的には、モノクローナル抗体が作製されて検定に使用したが、全ての発生地病原体を検出できず、汎用性がなく使用には問題であった。そこで、

私どもの研究室では最近開発が進んでいる遺伝子診断法について、数ヵ所から収集した病原体に対して MLO のプライマーを用いて検出を試みたが、残念ながら検出できなかった。今後は数種類の細菌のプライマーを用いて検討を行う予定である。